

保健医療福祉論		講義	非常勤講師 一戸 真子	
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの専門選択科目、スポーツトレーナーコースの専門選択科目 柔道整復師コースの専門基礎科目 救急救命士コースの専門基礎科目	科目ナンバリング	11322117 12331101 13332202	

1. 授業のねらい・概要

保健、医療、福祉・介護に関連した関係法規と制度の基礎知識や理論について講義する。保健・医療・福祉・介護各サービスの内容や技術について学ぶことは大切であるが、これらのサービスは、法律によって根拠づけられ、規制され、一定のルールのもとで役割分担されているということの重要さと必要性を学生が理解できるようになることを本講義の目的とする。さらに人々のQOLの向上には、保健・医療・福祉・介護の連携が大変重要であり、相互に関連性があることについても理解を深められるよう講義する。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とする。振り返りシートを活用して、理解を深められるよう工夫する。

3. 授業計画

1. 保健・医療・福祉・介護各サービスの特徴	9. 健康増進法、予防の重要性
2. 憲法第25条と社会保障、医師法・各医療従事者法	10. 生活習慣病とがん対策
3. 医業と治療行為、医業類似行為	11. 患者のQOLとセルフケア
4. 医療法、健康保険法、介護保険法	12. 職種間の連携・チーム医療の重要性
5. 後期高齢者医療制度、障害者総合支援法	13. 障害者対策、難病対策
6. 診療報酬制度・介護報酬制度、公的扶助	14. 地域包括ケアシステム
7. 医療機能、病床機能、介護機能、在宅	15. 利用者中心の保健・医療・福祉・介護システムの構築と連携
8. サービス利用者の人権、自己決定・尊厳	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

今回の授業テーマに関するテキストを読み込んでおくことと、各授業後に指示する課題についてまとめておくこと。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後、解答などを掲示板に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

- 保健・医療・福祉・介護各サービスの特徴と制度の果たす役割について説明できる。
- 保健、医療、福祉各関連法規および医療従事者各法について説明できる。
- 保健医療福祉制度のあり方について説明でき、保健・医療・福祉・介護の連携の重要性について説明できる。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（60%）、レポート（40%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、『保健医療と福祉』（2025）中央法規出版（ISBN9784824301567）を使用するので、毎回の課題に必要なである。その他必要な参考書等は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

保健・医療・福祉・介護に関する各法制度等を知っておくことは、今後患者や患者家族経験、要介護者や介護者を経験する際にも役立つことが多いので、関心を持って積極的に受講して欲しい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、医療施設や福祉施設評価に関する実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。